

日本災害情報学会第 32 回学会大会



大会プログラム

令和 8 (2026) 年 3 月 14 日 (土) ~ 15 日 (日)

会場： 東京大学 法学政治学系総合教育棟 (ガラス棟)

◎3月14日(土)

10:00	受付開始	[ガラス棟 1 階・101 教室]
10:30-12:00	口頭発表 (セッション 1)	[A・B・C 会場]
13:00-14:30	口頭発表 (セッション 2)	[A・B・C 会場]
14:45-16:15	口頭発表 (セッション 3)	[A・B・C 会場]
16:30-	廣井賞授賞式	[A 会場]
17:30-	交換会 (ワークショップ)	[山上会館地下 1 階]

◎3月15日(日)

09:30	受付開始	[ガラス棟 1 階・101 教室]
10:00-11:45	口頭発表 (セッション 4)	[A・B・C 会場]
12:45-14:15	口頭発表 (セッション 5)	[A・B・C 会場]
14:30-16:00	口頭発表 (セッション 6)	[A・B・C 会場]
16:00-	優秀発表賞授賞式	[A 会場]

【参加方法・参加費など】

	正会員 (名誉会員・賛助・購読会員含む)	学生会員	非会員 (一般)	非会員 (学生)
大会参加費	4,000 円	2,000 円	8,000 円	4,000 円

	社会人 (社会人学生含む)	学生
意見交換会 (ワークショップ) 参加費	7,000 円	3,500 円

- ・ 学会大会・意見交換会に参加をご希望される方は、以下の URL (STORES) から参加チケットを購入してください。

チケット購入サイト <https://kst123.stores.jp/>

- ・ 領収書は後日、学会事務局よりメールにてお送りいたします。
- ・ 領収書の個別希望への対応はできません。
- ・ 予稿集の URL もチケットに記載されています。

■チケットに関する注意

- ・ チケットは参加されるご本人の氏名 (参加者個人名) でご購入ください。
- ・ 当日、受付で参加者名簿による確認を行います。
- ・ 会員価格でご購入いただけるのは会員ご本人のみです。
- ・ 非会員の方の代理購入・名義貸し等をご遠慮ください。
- ・ 学会参加チケット購入後のキャンセルは、原則お受けしておりません。
- ・ 購入後、登録したメールアドレスにチケット (PDF) が届きます。
- ・ 学会大会に参加される方は、受付でチケットの提示をお願いします。
- ・ 現地での参加費の支払いはご遠慮ください。

チケット購入
QR コード

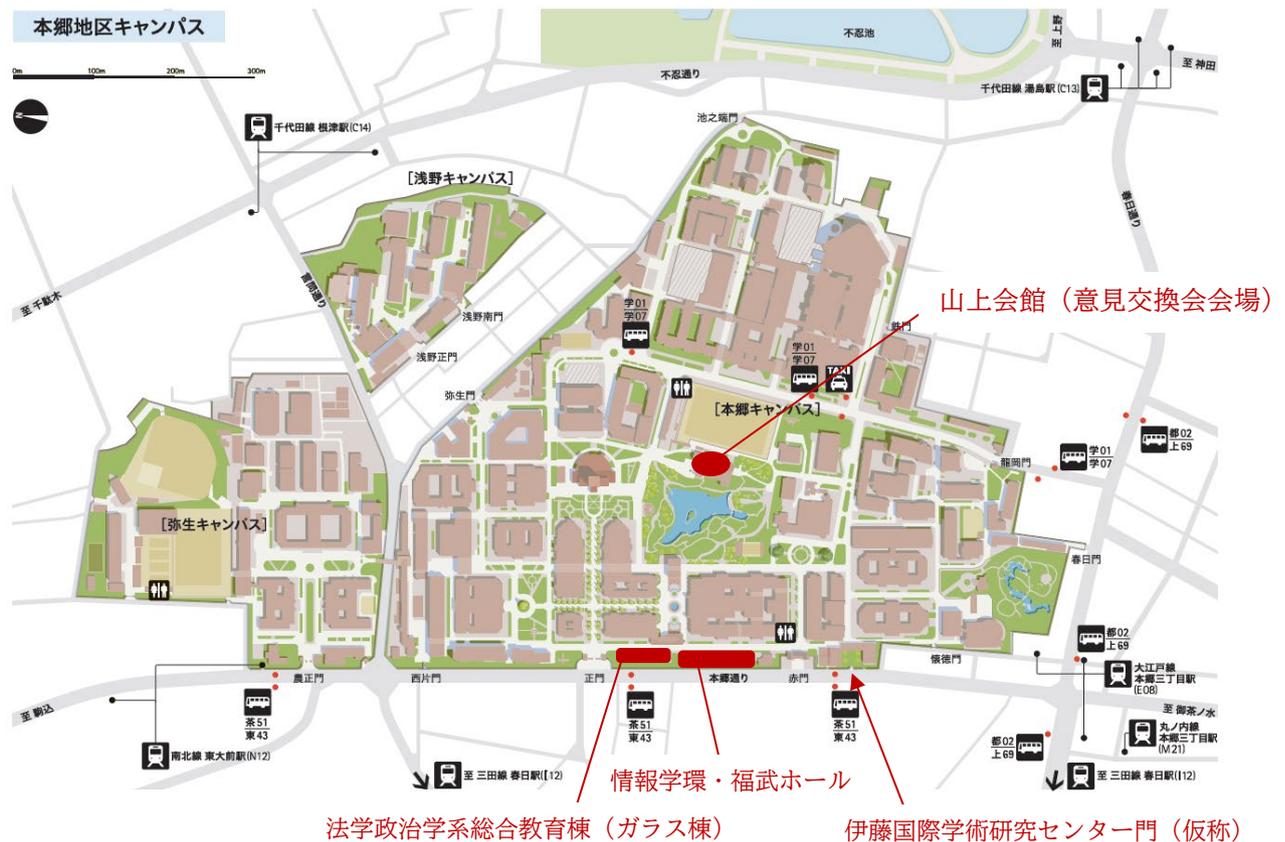


【大会会場案内（アクセスマップ）】

会場：東京大学 法学政治学系総合教育棟（ガラス棟）／大学院情報学環・福武ホール
〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3-1

◆注意◆

現在、赤門が耐震性能の確保のため、閉鎖されています。本郷三丁目駅側よりお越しの方は、その手前にあります、「伊藤国際学術研究センター門（仮称）」よりお入りください。



本郷三丁目駅	（東京メトロ丸の内線、都営大江戸線）	徒歩 8 分
根津駅	（東京メトロ千代田線）	徒歩 10 分
東大前	（東京メトロ南北線）	徒歩 5 分
春日駅	（都営三田線）	徒歩 15 分

【大会会場案内（会場内）】



【学会に参加する全員の方に対する諸注意】

- チケットの購入は必ず事前に行ってください。
- オンラインでの中継はありません。
- 大会参加受付は、ガラス棟 1 階・101 教室です。会場にお越しの際は、受付にてチケット（電子または印刷したもの）を提示し、会場内にお入りください。
- 現地のネットワーク回線は、UTokyo-Guest、eduroam が使用可能です。
- 学会大会で使用する（指定された）会場以外の会議室等には、絶対に入室しないでください。
- 発生したごみについては、各自でお持ち帰りいただくようお願いいたします。
- 貴重品の管理は各自の責任においてお願いいたします。万が一、盗難等の被害が発生しても、大会実行委員会では一切の責任を負えません。

【口頭発表される方全員に対する諸注意】

- 発表で使用する PC やコネクタ（会場では HDMI 端子利用可）等は各自でご用意ください。大会実行委員会では機材貸出・技術的サポートの用意はありません。
- なお、Mac をお使いの方は会場機材との接続を必ず確認していただきますようお願いいたします。
- 発表 1 件につき、10 分発表+5 分質疑です。各セッションの最後に 15 分の総合討論の時間を設けます。なお、時間経過は以下のタイミングでお知らせしますが、念のため、お手元等でも計測をお願いいたします。
 - 8 分 1 鈴
 - 10 分 2 鈴（発表終了）
 - 15 分 3 鈴（質疑終了）
- 動画を流す場合は、なるべくパワーポイントに埋め込む形にしてください。
- 優れた口頭発表には、「優秀発表賞」を授与いたします（若手研究者・学生（40 歳以下）が対象）。なお、過去に阿部賞／河田賞／若手研究発表会・若手発表奨励賞（2021 年 4 月開催）／学会大会優秀発表賞を受賞した方は対象外となります。
- 発表を辞退する場合も、学会大会実行委員会・研究発表担当まで必ずご連絡ください。

お困りの際は、以下まで連絡をください。

大会実行委員会・研究発表担当 jasdis.taikai@gmail.com

●発表スケジュール（簡易版）

日本災害情報学会第 32 回学会大会プログラム

1 日目（3 月 14 日 10:00 受付開始：ガラス棟 1 階・101 教室）

	A会場（102 教室）	B会場（201 教室）	C会場（203 教室）
セッション 1 10:30-12:00	地震・火山① 座長:中村 功	心理 座長:及川 康	風水害 座長:向井 利明
昼休み			
セッション 2 13:00-14:30	地震・火山② 座長:阪本 真由美	防災教育 座長:竹之内 健介	地域防災・情報 座長:齋藤 さやか
セッション 3 14:45-16:15	地震・火山③ 座長:伊勢 正	避難 座長:廣井 悠	災害伝承・文化 座長:竹 順哉
廣井賞授賞式 16:30-	廣井賞授賞式		
意見交換会 17:30-	山上会館 地下1階		

2 日目（3 月 15 日 9:30 受付開始：ガラス棟 1 階・101 教室）

	A会場（102 教室）	B会場（201 教室）	C会場（203 教室）
セッション 4 10:00-11:45	能登半島地震 座長:石橋 真帆	災害復興 座長:安本 真也	シミュレーション 座長:平山 修久
昼休み			
セッション 5 12:45-14:15	津波 座長:本多 祥大	自治体① 座長:四井 早紀	避難所・要配慮者 座長:大津山 堅介
セッション 6 14:30-16:00	メディア 座長:武村 雅之	自治体② 座長:水野 一成	災害対応 座長:佐藤 良太
優秀発表賞授賞式 16:00-	優秀発表賞授賞式		

●発表タイムテーブル (1日目:3月14日)

日時	セッション:時間	会場	セッション名	座長	タイトル	氏名	所属
3月14日	セッション1 10:30~12:00	A会場 102教室	地震・火山①	中村功	東京23区を対象とした首都直下地震における推定火面長と消防力の比較分析	成井峻亮	東京大学 工学部都市工学科
					令和7年12月9日北海道・三陸沖後発地震注意情報発表直後の住民の反応	安本真也	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター
					箱根火山防災とリスクコミュニケーション—2015年における噴火対応とその後	齋藤さやか	東北大学大学院理学研究科理学教育支援センター
					災害廃棄物量からみた新たな南海トラフ地震被害想定に対する考察	平山修久	名古屋大学
		B会場 201教室	心理	及川康	破局予言とカタルシス——「2025年7月に大災害が起こる」といううわさの社会心理学的研究	米山太賀	東京大学大学院 学際情報学府
					水害時における住民のリスク嗜好と避難経路選択モデルに関する考察-滋賀県彦根市における検証-	馬場千塚	京都大学大学院情報学研究所
					防災意識の地域差とそれを規定する社会的要因に関する定量分析	山崎航汰	芝浦工業大学 システム理工学部
					災害と自粛の社会心理学——2024年能登半島地震後の自粛行動に関する研究	LEE SEUNG MIN	東京大学大学院学際情報学府
		C会場 203教室	風水害	向井利明	防災気象情報に関するリーフレットの新たな作成手法:児童と気象庁職員が共同で作成するプロセスの効果	竹順哉	京都大学大学院 情報学研究所
					中国上海市における一般市民の台風への備えのギャップ:備え認知ギャップに着目して	李楠森	滋賀大学大学院博士後期課程 経済学研究所
					避難情報の発令判断プロセスにおける制約条件-静岡県8市町の担当者へのヒアリング調査から-	三宅真太郎	LINEヤフー株式会社 メディアSBU ニュースプランニング2ユニット、東京大学大学院 学際情報学府
					大雨警報の的中率と住民の課題認識・避難判断の関係	赤石一英	気象庁
	セッション2 13:00~14:30	A会場 102教室	地震・火山②	阪本真由美	新しい防災気象情報における「災害のおそれ」とは何か	向井利明	名古屋地方気象台
					首都直下地震ボランティアへの提言 —災害廃棄物行政、技術系ボランティアの視線から—	高田昭彦	復興ボランティアタスクフォース 代表/富士フィルムビジネスイノベーションジャパン 勤務
					南海トラフ地震と原子力複合災害-愛媛県伊方町調査から	森岡千穂	松山大学 人文学部社会学科
					地震情報の不確実性をめぐる学習者の理解と態度の変容-偶然、認識論的不確実性の受け止め方に着目して-	杉山高志	九州大学大学院 人間環境学研究院
		B会場 201教室	防災教育	竹之内健介	「北海道・三陸沖後発地震注意情報」はどう伝わるか? 先発地震を社会に認識させる「予告」情報導入の提案	福島隆史	TBSテレビ報道局
					火山災害における被災者生活再建支援制度の適用と課題	阪本真由美	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科
					ニオイと映像による土砂災害体験コンテンツの開発	眞崎雅理	NHKテクノロジーズ
					地域にある学校における体系的な防災教育と教育実施体制の提案	今野涼太	宇都宮大学地域デザイン科学部
		C会場 203教室	地域防災・情報技術	齋藤さやか	地域とともにある中学校避難所運営訓練のあり方-高知県土佐清水市での実践から-	山田愛菜美	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
					同一の児童集団を対象とした継続的・長期的な防災学習サイクルに関する検証研究	長島雄介	京都大学大学院 情報学研究所/奈良女子大学附属小学校
					防災教育におけるリスク教育とケア教育の連携-横浜国立大学附属鎌倉小学校における事例-	竹之内健介	香川大学 創造工学部・横浜国立大学 台風科学技術センター
					水害時の避難所運営業務を対象とした業務量および人員配置計算手法の構築	大野哲平	NTT東日本株式会社 防災研究所
セッション3 14:45~16:15	A会場 102教室	地震・火山③	伊勢正	非営利組織(NPO)を支える中間支援組織の概念整理-災害中間支援組織の充実に向けて-	土崎雄祐	宇都宮大学大学院 博士後期課程地域創生科学研究科 先端融合科学専攻グローバル地域デザインプログラム	
				人流データを活用した水害時の避難者数予測モデルの設計と基礎分析	午房佳貴	NTT東日本株式会社 防災研究所	
				災害伝承における実談の成立プロセスに関する考察-和歌山県広川町「福むらの火」を事例として-	関ひなの	東京大学大学院学際情報学府修士課程	
				災害支援を主業としない在地団体による被災した地元住民への支援活動:行政と住民の隙間をどう埋めたか	阿部舞優	ソフトバンク株式会社 プロセス&データマネジメント本部	
	B会場 201教室	避難	廣井悠	首都直下地震時の建設型応急仮設住宅・産業用仮設施設の配分に関する分析	河野太郎	東京大学工学部都市工学科	
				地震による直接死および災害関連死に影響を及ぼす背景要因の因果探索	宇山三四郎	東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻	
				車載カメラによる建物高さ推定手法を活用した地震発生時の建物被害状況把握手法の開発	白石悠広	防災科学技術研究所 社会防災研究領域防災情報研究部門	
				自主防災組織の調査から見える「意識と行動の乖離」南海トラフ地震の備えに対する高齢化の影響	和田啓	静岡放送株式会社 報道制作局 報道部	
	C会場 203教室	災害伝承・文化	竹順哉	SIP防災OKINAWA2025の実施報告-合同調整に関する検証機会の創出-	伊勢正	防災科学技術研究所	
				北海道における道の駅の中避難者受け入れに関する類型化と課題の検討	小山内莉々加	札幌市立大学大学院	
				自宅の風水害リスクに応じた避難方法の検討促進ツールの開発	加藤直樹	群馬大学 大学院理工学部 修士前期課程 環境創生理工学教育プログラム	
				「避難情報に関するガイドライン」と賠償責任	高澤周	東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻	
A会場 102教室	地震・火山③	伊勢正	「判断力を育てにくい」避難訓練の構造的課題 — 地域防災計画と被害想定に基づく訓練設計の再構成 —	江夏猛史	NPO法人 減災教育普及協会		
			2025年大船渡市林野火災時の住民避難行動調査	廣井悠	東京大学先端科学技術研究センター		
			地域文化の保全と災害からの早期復旧:立場や思いの違いを如何に調整し被災漆器を救出するか	佐々木俊介	早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター		
			災害伝承館の役割に関する一考察-広島市豪雨災害伝承館を事例に-	福田敬正	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科		
B会場 201教室	避難	廣井悠	災害語彙の情報内容類型に関する基礎的検討 — 地域語彙を対象として —	三谷直哉	文化財防災センター		
			「震災伝承施設」の成立過程に関する考察 — 慰霊と伝承の社会学 —	多田健太	東京大学大学院学際情報学府		
			災害記憶の継承における語りの対話的適応 — 福島県浜通り伝承館講話の回次差・世代差 —	雑賀宏枝	筑波大学大学院人間総合科学研究群情報学学位プログラム博士後期課程		

●発表タイムテーブル (2日目: 3月15日)

日時	セッション:時間	会場	セッション名	座長	タイトル	氏名	所属
3月15日	セッション4 10:00~11:45	A会場 102教室	能登半島地震	石橋真帆	能登半島地震における被災者の感情変化に関する考察—地元紙読者投稿コラムの分析を通して—	三宅康心	香川大学 創造工学部創造工学科
					災害時におけることも支援のあり方の検討 ~令和6年能登半島地震発生後の支援団体を対象に~	青木りさ	関西学院大学
					令和6年能登半島地震発生後の再建過程における在宅被災者の地域再建活動への参画意欲に関する分析	康超凡	関西学院大学
					令和6年能登半島地震による住居の課題に関する研究	福井桃子	東京大学大学院 学際情報学府
		B会場 201教室	災害復興	安本真也	復興に関するシミュレーション研究の系統的レビュー - データ活用とその時間解像度に着目して -	後藤裕瑛	東京大学大学院 工学系研究科
					創造的復興という概念の役割と多義性 - 学術論文と復興計画に対する計量テキスト分析を用いて -	木村茉莉	東京大学 工学部都市工学科
					災害経験から回復への対処過程: 2025年ミャンマー地震における就労世代成人の経験-予備的知見-	インメイズンハン	東北大学 医学系研究科
					民俗芸能における若者の参加動機と継続要因に関する研究 - 福島県浪江町3地区の田植踊り復活事例に着目して -	小竹樂和	成城学園高等学校/東日本震災・原子力災害伝承館ユース研究員
		C会場 203教室	シミュレーション	平山修久	LLMによる避難シミュレーションのナラティブ提示品質: イベント・コンテキスト・価値の境界管理	浪越圭一	名古屋工業大学
					MBD(モデルベース開発)による災害廃棄物処理シミュレーションモデルの構築	平畑優斗	大阪工業大学大学院情報科学研究科
					被災画像に基づく視覚言語モデル生成文の定量分析	芝直之	スマートインプリメント株式会社
					SCGEモデルを用いた富士山噴火・降灰の経済被害分析	曹蓮	株式会社KDDI総合研究所
	セッション5 12:45~14:15	A会場 102教室	津波	本多祥大	地域住民の津波避難タワーに対する総合評価とその規定要因	佐藤涼	関西学院大学 建築学部
					青森県八戸市の住民を対象とした徒歩避難促進における「ナッジ」の利用可能性の検討	星美沙希	東北大学大学院 工学研究科
					津波避難開始を促す切迫感を醸成する要因の時空間分析と伝達媒体としてのUAVの可能性	山形啓太	関西大学 社会安全学部安全マネジメント学科
					津波避難場所における自宅避難の選択要因に関する研究	世良田汎介	関西学院大学 建築学部
		B会場 201教室	自治体①	四井早紀	地域主体の津波避難対策推進に向けたシミュレーション構築人材の育成	中原邦博	京都大学防災研究所巨大災害研究センター
					災害時におけるくまモンの役割とゆるキャラの防災ポテンシャル	齋藤圭悟	関西大学 社会安全学部安全マネジメント学科
	セッション6 14:30~16:00	A会場 102教室	メディア	武村雅之	自治体防災訓練のための災害シミュレータ	塚本純也	芝浦工業大学大学院 理工学研究科機能制御システム専攻
					観光危機管理先進地における業務体制の分析 ~沖縄県石垣島を題材にして~	内山颯太	宇都宮大学地域デザイン科学部
		B会場 201教室	自治体②	水野一成	山間地域における分散型ライフライン導入に向けた基礎的研究	早坂ゆいな	宇都宮大学地域デザイン科学部
					2025年大船渡市林野火災における住まいと生活再建に関する金銭的支援・補償の現状と課題	四井早紀	東京大学先端科学技術研究センター
	C会場 203教室	避難所・要配慮者	大津山堅介	2次避難の運営に関する比較研究—福島第一原子力発電所事故と令和6年能登半島地震を事例として	鍵慶和	東京大学大学院学際情報学府	
				学校管理下での発災時初動体制のあり方とその訓練体系の構築 —「本部ワーク」教材の開発と効果を通して—	菅原かほ子	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 修士2年	
セッション6 14:30~16:00	A会場 102教室	メディア	武村雅之	「さわるハザードマップ」ワークショップの効果検証 当事者・支援者間の「対話」をもたらす媒介として	椎原琉音	九州大学 共創学部	
				インクルーシブな避難所運営訓練を通じた学生の災害時対応意識の変容	萬代由希子	関西福祉大学	
				発達障害児・者に対する防災教材としての「やさしいにほんごでぼうさいかるた」の構成的特長(文献的検討)	海老名悠希	常盤大学・YKストレスケアオフィス	
				「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が出された地震時の津波避難「NHKアナの呼びかけ」に関する考察	中山準之助	日本放送協会 放送文化研究所 世論調査部(研究員)/東京大学大学院学際情報学府	
				大雨特設ニュースの内容分析—令和元年東日本台風の報道を中心に—	本多祥大	日本大学大学院新聞学研究科/東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター	
				発災後の「生活再建」に資するラジオ放送のあり方に関する考察—1984年長野県西部地震と2019年東日本台風の事例に基づく実践的マニュアルの提案—	生田明子	SBC信越放送ラジオ局編成制作部	
	B会場 201教室	自治体②	水野一成	報道キャスター対象の津波避難キャスターコメントに関する縦断調査—東日本大震災8年後と13年後の比較—	福本晋悟	毎日放送報道情報局報道センター(人と防災未来センター 特別研究調査員)	
				昭和東南海地震を伝える統制下の新聞記事 その1	武村雅之	東海国立大学機構 名古屋大学減災連携研究センター	
				市町間で異なる災害過程: 会議音声を用いた分析枠組みの試行	幸田悦子	国立研究開発法人防災科学技術研究所 社会防災研究領域災害過程研究部門	
				相模原市地域防災計画における災害記録の改正について	境孝明	相模原市役所危機管理統括部	
				自発的な水害対策を促す自治体主導の制度の実態と課題—全国市区町村を対象とした質問紙調査の結果から	山田拓実	東京大学大学院 情報学環(元 東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻)	
				実動機関の連携強化による災害情報の共有・活用—令和7年度ICTを活用した愛知県実動機関合同救助訓練—	筒井和男	国立研究開発法人防災科学技術研究所 先進防災技術連携研究センター	
C会場 203教室	災害対応	佐藤良太	自治体公式アカウントの登録と情報リテラシーの関連	水野一成	NTTドコモ モバイル社会研究所		
			社会現象の相転移と災害時判断—『命の矢印』概念による防災理論の再構成—	坂田広峰	三重県立北星高等学校		
			復興計画の反復的な改定が世帯の再定住行動にもたらす効果を評価する数理的枠組みの提案	根本豪己	東京大学工学部都市工学科		
			地盤災害における広域化リスクと公助のジレンマ: 協調均衡と多重均衡の政策含意	田中勝也	滋賀大学		
			大規模水害に備えない心理—首都圏大規模水害の避難に関する意識の分析—	加藤大輔	東京大学大学院学際情報学府		
			訪日外国人旅行者の防災情報使用意図と行動意図形成に関する検討—中国人旅行者を対象として—	佐藤良太	I-レジリエンス株式会社		

●発表スケジュール（詳細版）

3月14日（土）10:30～12:00 セッション1

102 教室(A会場)

A1 地震・火山①（座長 中村 功）

A1-1 東京23区を対象とした首都直下地震における推定火面長と消防力の比較分析

- 成井 竣亮（東京大学 工学部都市工学科）
- 後藤 裕瑛（東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻）
- 井澤 佳織（東京大学 先端科学技術研究センター）
- 四井 早紀（東京大学 先端科学技術研究センター）
- 大津山 堅介（東京大学 先端科学技術研究センター）
- 廣井 悠（東京大学 先端科学技術研究センター）

A1-2 令和7年12月9日北海道・三陸沖後発地震注意情報発表直後の住民の反応

- 安本 真也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
- 石橋 真帆（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
- 作間 敦（NTT データ経営研究所）
- 荒木 優弥（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構）
- 本多 祥大（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター／日本大学大学院新聞学研究科）
- 関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

A1-3 箱根火山防災とリスクコミュニケーション—2015年における噴火対応とその後

- 齋藤 さやか（東北大学大学院理学研究科理学教育研究支援センター）
- 安本 真也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
- 秦 康範（日本大学危機管理学部）

A1-4 災害廃棄物量からみた新たな南海トラフ地震被害想定に対する考察

- 平山 修久（名古屋大学）
- 井上 史也（MS&AD インターリスク総研株式会社）
- 堀江 啓（MS&AD インターリスク総研株式会社）

A1-5 2025年青森県東方沖地震における八戸市民の情報行動-「後発地震情報」と緊急地震速報-

- 中村 功（東洋大学 社会学部メディアコミュニケーション学科）
- 中森 広道（日本大学 文理学部社会学科）

201 教室(B会場)

B1 心理（座長 及川 康）

B1-1 破局予言とカタルシス——「2025年7月に大災難が起こる」といううわさの社会心理学的研究

- 米山 太賀（東京大学大学院学際情報学府）
- 本多 祥大（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
- 石橋 真帆（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
- 安本 真也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
- 関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

B1-2 水害時における住民のリスク選好と避難経路選択モデルに関する考察-滋賀県彦根市における検証

- 馬場 千瑳（京都大学大学院情報学研究科）
- 畑山 満則（京都大学防災研究所）

B1-3 防災意識の地域差とそれを規定する社会的要因に関する定量分析

- 山崎 航汰（芝浦工業大学システム理工学部）
- 塚本 純也（芝浦工業大学大学院理工学研究科）

藤田 楓 (芝浦工業大学システム理工学部研究員)
市川 学 (芝浦工業大学システム理工学部)

B1-4 災害と自粛の社会心理学——2024年能登半島地震後の自粛行動に関する研究——
LEE SEUNGMIN (東京大学大学院学際情報学府)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

B1-5 防災庁創設に対する住民意識
及川 康 (東洋大学理工学部都市環境デザイン学科)
森本 翔太 (東洋大学大学院 理工学研究科都市環境デザイン専攻)

203 教室(C会場)

C1 風水害(座長 向井 利明)

C1-1 防災気象情報に関するリーフレットの新たな作成手法：児童と気象庁職員が共同で作成するプロセスの効果

竹 順哉 (京都大学大学院 情報学研究科)
矢守 克也 (京都大学防災研究所 巨大災害研究センター)

C1-2 中国上海市における一般市民の台風への備えのギャップ：備え認知ギャップに着目して
李 楠森 (滋賀大学大学院博士後期課程 経済学研究科)
田中 勝也 (滋賀大学教授 経済学部/環境総合研究センター)

C1-3 避難情報の発出判断プロセスにおける制約条件-静岡県8市町の担当者のヒアリング調査から-
三宅 真太郎 (LINE ヤフー株式会社 メディア SBU、東京大学大学院 学際情報学府 修士課程)
安本 真也 (東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)
関谷 直也 (東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)

C1-4 大雨警報の的中率と住民の課題認識・避難判断の関係
赤石 一英 (気象庁)
田中 勝也 (滋賀大学 経済学部/環境総合研究センター)
横田 崇 (愛知工業大学 地域防災研究センター)
牛山 素行 (静岡大学 総合防災センター)

C1-5 新しい防災気象情報における「災害のおそれ」とは何か
向井 利明 (名古屋地方気象台)
牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)

3月14日(土) 13:00~14:30 セッション2

102 教室(A会場)

A2 地震・火山②(座長 阪本 真由美)

- A2-1 首都直下地震ボランティアへの提言 —災害廃棄物行政、技術系ボランティアの視線から—
高田 昭彦 (復興ボランティアタスクフォース 代表/富士フィルムビジネスイノベーション
ジャパン 勤務)
- A2-2 南海トラフ地震と原子力複合災害・愛媛県伊方町調査から
森岡 千穂 (松山大学 人文学部社会学科)
中村 功 (東洋大学 社会学部メディアコミュニケーション学科)
- A2-3 地震情報の不確実性をめぐる学習者の理解と態度の変容 —偶然・認識論的不確実性の受け止め方
に着目して—
杉山 高志 (九州大学大学院 人間環境学研究院)
北原 壮一郎 (九州大学大学院 統合新領域学府)
山下 裕亮 (宮崎公立大学 人文学部国際文化学科)
矢守 克也 (京都大学 防災研究所)
- A2-4 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」はどう伝わるか2 先発地震を社会に認識させる“予告”情
報導入の提案
福島 隆史 (TBSテレビ報道局)
- A2-5 火山災害における被災者生活再建支援制度の適用と課題
阪本 真由美 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)

201 教室(B会場)

B2 防災教育(座長 竹之内 健介)

- B2-1 ニオイと映像による土砂災害体験コンテンツの開発
眞崎 雅理 (NHK テクノロジーズ)
和田 浩二 (NHK テクノロジーズ)
岩城 真子 (NHK テクノロジーズ)
- B2-2 地域にある学校における体系的な防災教育と教育実施体制の提案
今野 涼太 (宇都宮大学地域デザイン科学部)
近藤 伸也 (宇都宮大学地域デザイン科学部)
- B2-3 地域とともにある中学校避難所運営訓練のあり方 —高知県土佐清水市での実践から—
山田 愛菜美 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科)
大木 聖子 (慶應義塾大学環境情報学部)
- B2-4 同一の児童集団を対象とした継続的・長期的な防災学習サイクルに関する検証研究
長島 雄介 (京都大学大学院情報学研究科/奈良女子大学附属小学校)
矢守 克也 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター)
- B2-5 防災教育におけるリスク教育とケア教育の連携~横浜国立大学附属鎌倉小学校における事例~
竹之内健介 (香川大学創造工学部/横浜国立大学台風科学技術センター)
久保 尊洋 (横浜国立大学教育学部/横浜国立大学台風科学技術センター)
貞光 千春 (お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター/横浜国立大学台風
科学技術センター)

203 教室(C 会場)

C2 地域防災・情報技術 (座長 齋藤 さやか)

C2-1 水害時の避難所運営業務を対象とした業務量および人員配置計算手法の構築

大野 哲平 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
加藤 禎洋 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
高津 諭 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
大牟禮 萌実 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
杉山 友理 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
沼田 宗純 (東京大学 生産技術研究所/大学院情報学環)

C2-2 非営利組織 (NPO) を支える中間支援組織の概念整理—災害中間支援組織の充実に向けて—

土崎 雄祐 (宇都宮大学大学院 博士後期課程地域創生科学研究科先端融合科学専攻
グローバル地域デザインプログラム)
近藤 伸也 (宇都宮大学 地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科)

C2-3 人流データを活用した水害時の避難者数予測モデルの設計と基礎分析

午房 佳貴 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
中村 帥 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
稲垣 晶彦 (NTT 東日本株式会社 防災研究所)
井澤 佳織 (東京大学 先端科学技術研究センター)
四井 早紀 (東京大学 先端科学技術研究センター)
大津山 堅介 (東京大学 先端科学技術研究センター)
廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)

C2-4 災害伝承における美談の成立プロセスに関する考察—和歌山県広川町「稲むらの火」を事例として—

関 ひなの (東京大学大学院 学際情報学府修士課程)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

C2-5 災害支援を主業としない在地団体による被災した地元住民への支援活動：行政と住民の隙間をどう埋めたか

阿部 舞優 (ソフトバンク株式会社 プロセス&データマネジメント本部)
佐々木 俊介 (早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター)

3月14日(土) 14:45~16:15 セッション3

102 教室(A会場)

A3 地震・火山③(座長 伊勢正)

A3-1 首都直下地震時の建設型応急仮設住宅・産業用仮設施設の配分に関する分析

- 河野 太郎 (東京大学工学部都市工学科)
- 後藤 裕瑛 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻)
- 井澤 佳織 (東京大学先端科学技術研究センター)
- 四井 早紀 (東京大学先端科学技術研究センター)
- 大津山 堅介 (東京大学先端科学技術研究センター)
- 廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)

A3-2 地震による直接死および災害関連死に影響を及ぼす背景要因の因果探索

- 宇山 三四郎 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻)
- 後藤 裕瑛 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻)
- 井澤 佳織 (東京大学先端科学技術研究センター)
- 四井 早紀 (東京大学先端科学技術研究センター)
- 大津山 堅介 (東京大学先端科学技術研究センター)
- 廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)

A3-3 車載カメラによる建物高さ推定手法を活用した地震発生時の建物被害状況把握手法の開発

- 白石 悠広 (防災科学技術研究所 社会防災研究領域防災情報研究部門)
- 佐野 浩彬 (防災科学技術研究所 社会防災研究領域防災情報研究部門)
- 水井 良暢 (防災科学技術研究所 研究共創推進本部 研究推進室)
- 臼田 裕一郎 (防災科学技術研究所 社会防災研究領域防災情報研究部門)

A3-4 自主防災組織の調査から見える“意識と行動の乖離”南海トラフ地震の備えに対する高齢化の影響

- 和田 啓 (静岡放送株式会社 報道制作局 報道部)

A3-5 SIP 防災 OKINAWA2025 の実施報告 -合同調整に関する検証機会の創出-

- 伊勢 正 (防災科学技術研究所)
- 工藤 隼人 (防災科学技術研究所)
- 市川 学 (芝浦工大)
- 大和田 泰伯 (情報通信研究機構)
- 坂野 寿和 (国際電気通信基礎技術研究所)
- 深田 俊明 (エーアイ)

201 教室(B会場)

B3 避難(座長 廣井 悠)

B3-1 北海道における道の駅の車中避難者受け入れに関する類型化と課題の検討

- 小山内 莉々加 (札幌市立大学大学院)
- 小林 重人 (札幌市立大学大学院)

B3-2 自宅の風水害リスクに応じた避難方法の検討促進ツールの開発

- 加藤 直樹 (群馬大学大学院理工学府修士前期課程環境創生理工学教育プログラム)
- 金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府)

B3-3 「避難情報に関するガイドライン」と賠償責任

- 富澤 周 (東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻)

B3-4 「判断力を育てにくい」避難訓練の構造的課題 —地域防災計画と被害想定に基づく訓練設計の再構成—

- 江夏 猛史 (NPO 法人減災教育普及協会)

秦 康範 (日本大学危機管理学部)

B3-5 2025年大船渡市林野火災時の住民避難行動調査

廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)
成井 峻亮 (東京大学工学部都市工学科)
四井 早紀 (東京大学先端科学技術研究センター)
後藤 裕瑛 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻)

203 教室(C会場)

C3 災害伝承・文化 (座長 竹 順哉)

C3-1 地域文化の保全と災害からの早期復旧:立場や思いの違いを如何に調整し被災漆器を救出するか

佐々木俊介 (早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター)
阿部 舞優 (ソフトバンク株式会社 プロセス&データマネジメント本部)
滝尾 乙姫 (早稲田大学人間科学部)

C3-2 災害伝承館の役割に関する一考察—広島市豪雨災害伝承館を事例に—

福田 敬正 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)
山口 恭平 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)
安藤ゆかり (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)
川原 耕一 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)
渡邊 啓太 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)
阪本真由美 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)

C3-3 災害語彙の情報内容類型に関する基礎的検討 — 地域語彙を対象として —

三谷 直哉 (文化財防災センター)
上相 英之 (文化財防災センター)

C3-4 「震災伝承施設」の成立過程に関する考察 — 慰霊と伝承の社会学 —

多田 健太 (東京大学大学院 学際情報学府)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

C3-5 災害記憶の継承における語りの対話的適応 — 福島県浜通り伝承館講話の回次差・世代差 —

雑賀 宏枝 (筑波大学大学院人間総合科学研究群情報学学位プログラム博士後期課程)

3月15日(日) 10:00~11:45 セッション4

102 教室(A会場)

A4 能登半島地震(座長 石橋真帆)

- A4-1 能登半島地震における被災者の感情変化に関する考察—地元紙読者投稿コラムの分析を通じて—
三宅 康心 (香川大学 創造工学部創造工学科)
磯打 千雅子 (香川大学 地域強靱化研究センター)
- A4-2 災害時におけるこども支援のあり方の検討～令和6年能登半島地震発生後の支援団体を対象に～
青木 りさ (関西学院大学)
照本 清峰 (関西学院大学)
- A4-3 令和6年能登半島地震発生後の再建過程における在宅被災者の地域再建活動への参画意欲に関する分析
康 超凡 (関西学院大学)
照本 清峰 (関西学院大学)
- A4-4 令和6年能登半島地震による住居の課題に関する研究
福井 桃子 (東京大学大学院 学際情報学府)
LEE SEUNGMIN (東京大学大学院 学際情報学府)
鍵 慶和 (東京大学大学院 学際情報学府)
石橋 真帆 (東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)
安本 真也 (東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)
関谷 直也 (東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)
- A4-5 令和6年能登半島地震時における石川県居住者の動画視聴傾向
石橋 真帆 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

201 教室(B会場)

B4 災害復興(座長 安本 真也)

- B4-1 復興に関するシミュレーション研究の系統的レビュー—データ活用とその時間解像度に着目して—
後藤 裕瑛 (東京大学大学院工学系研究科)
井澤 佳織 (東京大学先端科学技術研究センター)
四井 早紀 (東京大学先端科学技術研究センター)
大津山堅介 (東京大学先端科学技術研究センター)
廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)
- B4-2 創造的復興という概念の役割と多義性—学術論文と復興計画に対する計量テキスト分析を用いて—
木村 栞莉 (東京大学工学部都市工学科)
後藤 裕瑛 (東京大学大学院工学系研究科)
井澤 佳織 (東京大学先端科学技術研究センター)
四井 早紀 (東京大学先端科学技術研究センター)
大津山堅介 (東京大学先端科学技術研究センター)
廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)
- B4-3 災害経験から回復への対処過程:2025年ミャンマー地震における就労世代成人の経験・予備的知見
インメイズィンハン (東北大学医学系研究科)
Phue Thet Khaing (東北大学医学系研究科)
- B4-4 民俗芸能における若者の参加動機と継続要因に関する研究—福島県浪江町3地区の田植踊り復活事例に着目して—
小竹 樂和 (成城学園高等学校/東日本大震災・原子力災害伝承館ユース研究員)

根本 豪己 (東京大学工学部都市工学科)
開沼 博 (東京大学大学院情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館)

B4-5 地域の愛着に着目した居住継続要因に関する研究 ―倉敷市真備町における質的研究を通じて―
笹岡 卓実 (香川大学創造工学部創造工学科)
磯打千雅子 (香川大学地域強靱化研究センター)

B4-6 能登半島地震発生後の地域の再建の認識に対する規定要因の分析
森下いずみ (関西学院大学建築学部建築学科)
柳原 壮 (関西学院大学建築学部建築学科)
上田 大勢 (関西学院大学建築学部建築学科)
平原 駿 (関西学院大学建築学部建築学科)
照本 清峰 (関西学院大学建築学部建築学科教授)

203 教室(C会場)

C4 シミュレーション (座長 平山 修久)

C4-1 自家用車による引き渡しの交通シミュレーション 富士山噴火災害を想定した静岡県裾野市の小
中合同訓練に基づく検証

浪越 圭一 (名古屋工業大学)
佐多 宏太 (トヨタ自動車株式会社)

C4-2 LLMによる避難シミュレーションのナラティブ提示品質：イベント・コンテキスト・価値の
境界管理

平畑 優斗 (大阪工業大学大学院情報科学研究科)
坂平 文博 (大阪工業大学情報科学部)

C4-3 MBD (モデルベース開発)による災害廃棄物処理シミュレーションモデルの構築

芝 直之 (スマートインプリメント株式会社)
平山修久 (名古屋大学 減災連携研究センター)

C4-4 被災画像に基づく視覚言語モデル生成文の定量分析

曹 蓮 (株式会社 KDDI 総合研究所)
Huy Quang Ung
Hao Niu
三浦 瑞貴
上坂 大輔
多屋 優人

C4-5 SCGE モデルを用いた富士山噴火・降灰の経済被害分析

和田 佳祐 (東京大学大学院工学系研究科)
後藤 裕瑛 (東京大学大学院工学系研究科)
井澤 佳織 (東京大学 先端科学技術研究センター)
四井 早紀 (東京大学 先端科学技術研究センター)
大津山堅介 (東京大学 先端科学技術研究センター)
廣井 悠 (東京大学 先端科学技術研究センター)

3月15日(日) 12:45~14:15 セッション5

102 教室(A会場)

A5 津波(座長 本多祥大)

A5-1 地域住民の津波避難タワーに対する総合評価とその規定要因

佐藤 涼 (関西学院大学 建築学部)
世良田 洸介 (関西学院大学 建築学部)
照本 清峰 (関西学院大学 建築学部)

A5-2 青森県八戸市の住民を対象とした徒歩避難促進における「ナッジ」の利用可能性の検討

星 美沙希 (東北大学大学院 工学研究科)
佐藤 翔輔 (東北大学 災害科学国際研究所)
今村 文彦 (東北大学 災害科学国際研究所)

A5-3 津波避難開始を促す切迫感を醸成する要因の時空間分析と伝達媒体としての UAV の可能性

山形 啓太 (関西大学 社会安全学部安全マネジメント学科)
奥村 与志弘 (関西大学 社会安全学部安全マネジメント学科)

A5-4 津波避難場所における自宅避難の選択要因に関する研究

世良田 洸介 (関西学院大学 建築学部)
佐藤 涼 (関西学院大学 建築学部)
照本 清峰 (関西学院大学 建築学部)

A5-5 地域主体の津波避難対策推進に向けたシミュレーション構築人材の育成

中原 邦博 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター)
畑山 満則 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター)

201 教室(B会場)

B5 自治体①(座長 四井 早紀)

B5-1 災害時におけるくまモンの役割とゆるキャラの防災ポテンシャル

齋藤 圭悟 (関西大学社会安全学部安全マネジメント学科)
奥村与志弘 (関西大学社会安全学部安全マネジメント学科)

B5-2 自治体防災訓練のための災害シミュレータ

塚本 純也 (芝浦工業大学大学院理工学研究科機能制御システム専攻)
林 紘大 (芝浦工業大学大学院理工学研究科システム理工学専攻)
田口 大地 (芝浦工業大学システム理工学部電子情報システム学科)
藤田 楓 (芝浦工業大学システム理工学部研究員)
市川 学 (芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科)

B5-3 観光危機管理先進地における業務体制の分析 ~沖縄県石垣島を題材にして~

内山 颯太 (宇都宮大学地域デザイン科学部)
近藤 伸也 (宇都宮大学地域デザイン科学部)
宇治田 和 (ランドブレイン株式会社)

B5-4 山間地域における分散型ライフライン導入に向けた基礎的研究

早坂 ゆいな (宇都宮大学地域デザイン科学部)
近藤 伸也 (宇都宮大学地域デザイン科学部)

B5-5 2025年大船渡市林野火災における住まいと生活再建に関する金銭的支援・補償の現状と課題

四井 早紀 (東京大学先端科学技術研究センター)
荒木 笙子 (岩手大学農学部)
柴山 明寛 (東北大学災害科学国際研究所)

後藤 裕瑛 (東京大学大学院工学系研究科)
杉安 和也 (岩手県立大学総合政策学部)
饗庭 伸 (東京都立大学都市環境科学研究科)
北原 啓司 (弘前大学教育学部)

203 教室(C 会場)

C5 避難所・要配慮者(座長 大津山 堅介)

C5-1 2次避難の運営に関する比較研究—福島第一原子力発電所事故と令和6年能登半島地震を事例として

鍵 慶和 (東京大学大学院学際情報学府)
中村吉雄 (東京大学大学院学際情報学府)
安本真也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
関谷直也 (東京大学大学院学際情報学府)

C5-2 学校管理下での発災時初動体制のあり方とその訓練体系の構築 —「本部ワーク」教材の開発と効果を通して—

菅原かほ子 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 修士2年)
大木 聖子 (慶應義塾大学 環境情報学部准教授)

C5-3 「さわるハザードマップ」ワークショップの効果検証 当事者・支援者間の「対話」をもたらす媒介として

椎原琉音 (九州大学共創学部)
杉山高志 (九州大学大学院 人間環境学研究院)
大本 航 (九州大学大学院 統合新領域学府ユーザー感性スタディーズ専攻)
本岡真奈 (九州大学教育学部)

C5-4 インクルーシブな避難所運営訓練を通じた学生の災害時対応意識の変容

萬代由希子 (関西福祉大学)
餅原 秀希 (関西福祉大学)

C5-5 発達障害児・者に対する防災教材としての「やさしいにほんごでぼうさいかるた」の構成的特長(文献的検討)

海老名悠希 (常磐大学・YK ストレスケアオフィス)

3月15日(日) 14:30~16:00 セッション6

102 教室(A会場)

A6 メディア(座長 武村 雅之)

- A6-1 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が出された地震時の津波避難「NHK アナの呼びかけ」に関する考察
中山 準之助 (日本放送協会 放送文化研究所 世論調査部 (研究員) / 東京大学大学院学際情報学府)
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
- A6-2 大雨特設ニュースの内容分析—令和元年東日本台風の報道を中心に—
本多 祥大 (日本大学大学院新聞学研究科 / 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
- A6-3 発災後の「生活再建」に資するラジオ放送のあり方に関する考察 —1984年長野県西部地震と2019年東日本台風の事例に基づく実践的マニュアルの提案—
生田 明子 (SBC 信越放送ラジオ局編成制作部)
入江 さやか (松本大学)
福本 晋悟 (株式会社毎日放送)
西田 征弘 (株式会社 CBC テレビ)
- A6-4 報道キャスター対象の津波避難キャスターコメントに関する縦断調査—東日本大震災8年後と13年後の比較—
福本 晋悟 (毎日放送報道情報局報道センター (人と防災未来センター 特別研究調査員))
- A6-5 昭和東南海地震を伝える統制下の新聞記事 その1
武村 雅之 (東海国立大学機構 名古屋大学減災連携研究センター)

201 教室(B会場)

B6 自治体②(座長 水野 一成)

- B6-1 市町間で異なる災害過程：会議音声を用いた分析枠組みの試行
幸田 悦子 (国立研究開発法人防災科学技術研究所社会防災研究領域災害過程研究部門)
永松 伸吾 (国立研究開発法人防災科学技術研究所社会防災研究領域災害過程研究部門 / 関西大学社会安全学部)
- B6-2 相模原市地域防災計画における災害記録の改正について
境 孝明 (相模原市役所危機管理統括部)
牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)
- B6-3 自発的な水害対策を促す自治体主導の制度の実態と課題 —全国市区町村を対象とした質問紙調査の結果から—
山田 拓実 (東京大学大学院情報学環 (元東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻))
苔米地 毅大 (東京消防庁 (元東京大工学部都市工学科))
大津山 堅介 (東京大学先端科学技術研究センター)
廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)
- B6-4 実動機関の連携強化による災害情報の共有・活用 —令和7年度 ICT を活用した愛知県実動機関合同救助訓練—
筒井 和男 (国立研究開発法人防災科学技術研究所先進防災技術連携研究センター)
飯田 真知子 (国立研究開発法人防災科学技術研究所先進防災技術連携研究センター)
工藤 隼人 (国立研究開発法人防災科学技術研究所先進防災技術連携研究センター)
伊勢 正 (国立研究開発法人防災科学技術研究所先進防災技術連携研究センター)
磯野 猛 (国立研究開発法人防災科学技術研究所先進防災技術連携研究センター)

吉森 和城 (国立研究開発法人防災科学技術研究所先進防災技術連携研究センター)

B6-5 自治体公式アカウントの登録と情報リテラシーの関連

水野 一成 (NTTドコモモバイル社会研究所)

近藤 勢津子 (NTTドコモモバイル社会研究所)

203 教室(C会場)

C6 災害対応 (座長 佐藤 良太)

C6-1 社会現象の相転移と災害時判断 —『命の矢印』概念による防災理論の再構成—

坂田広峰 (三重県立北星高等学校)

C6-2 復興計画の反復的な改定が世帯の再定住行動にもたらす効果を評価する数理的枠組みの提案

根本 豪己 (東京大学工学部都市工学科)

後藤 裕瑛 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻)

井澤 佳織 (東京大学 先端科学技術研究センター)

四井 早紀 (東京大学 先端科学技術研究センター)

大津山堅介 (東京大学 先端科学技術研究センター)

廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)

C6-3 地盤災害における広域化リスクと公助のジレンマ：協調均衡と多重均衡の政策含意

田中勝也 (滋賀大学)

藤原広行 (防災科学技術研究所)

C6-4 大規模水害に備えない心理——首都圏大規模水害の避難に関する意識の分析——

加藤大輔 (東京大学大学院学際情報学府)

石橋真帆 (東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)

安本真也 (東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)

関谷直也 (東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター)

C6-5 訪日外国人旅行者の防災情報使用意図と行動意図形成に関する検討 -中国人旅行者を対象として-

佐藤良太 (I-レジリエンス株式会社)

阿部健一 (I-レジリエンス株式会社)

小林誠 (I-レジリエンス株式会社)